

2004 年度 委員会活動成果報告

(H 1 7 年 3 月 2 0 日 作 成)

委員会名	木質構造接合部規準改定小委員会	主 査 名：安村 基
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：鈴木秀三
設 置 期 間	2 0 0 1 年 4 月 ~ 2 0 0 5 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	木質構造設計規準・同解説における6章「接合部の設計」の規準改訂(案)および同解説の審議およびとりまとめ。2001年度：接合部に関する資料収集。2002年度：フレームワークの作成。2003年度：改訂原案の審議および作成。2004年度：改訂(案)および解説の審議および作成。	
委員構成 (委員名(所属))	安村基(静岡大) 徳田迪夫(三重大) 平井卓郎(北大) 小松幸平(京大木研) 鈴木秀三(職能開大) 中島史郎、榎本敬大(建研) 軽部正彦、杉本健一、宮武敦(森林総研) 新井新吉(新井建築工学研究所) 遠山則孝(遠山1級建築士事務所) 稲山正弘(稲山建築設計事務所) 那須秀之(住友林業)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2004 年度予算	1 0 0 , 0 0 0 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	5/28(12), 7/2(7), 8/20(7), 9/27(7), 10/22(3), 11/29(6), 1/14(3), 3/7(3)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)
	木質構造における接合部に関する資料の収集を行い、木質構造接合部設計法の基本的考え方を整理し、規格改訂案及び解説の作成を行った。本規格改訂案においては、建築基準法改正への対応を考慮し、接合部の終局耐力およびじん性を考慮した設計法の検討を行った。本規準は、わが国における木質構造の設計の標準となるもので、規準の改訂により、木質構造の設計がより合理的に行えるものと考えられる。 成果の公表は、現段階では行わず、2005年度、委員会での査読終了後とする。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係)
	当初の活動計画は、ほぼ達成された。今後、「木質構造設計規準」における他の部分とのすりあわせ及び運営委員会における査読を必要とする。
その他評価すべき事項	
	委員会 HP アドレス：